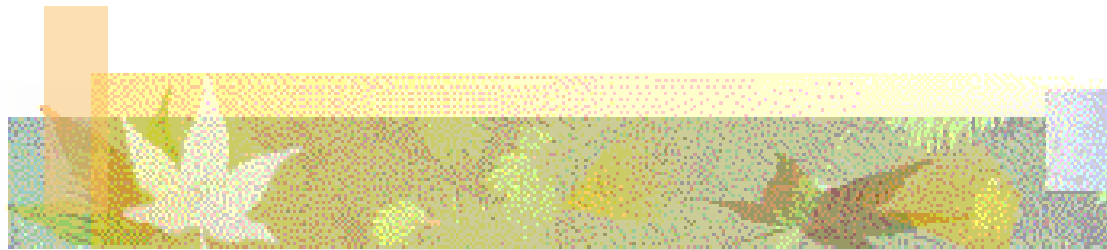


# 暑さに強く安定生産できる 小ネギ『夏元気』の品種開発



福岡県農業総合試験場 野菜育種部



# 1 取組の背景

「博多万能ねぎ」などの小ネギは福岡県の重要な農産物

福岡県は全国1位の小ネギ生産県

1年中出荷

小ネギは、夏に需要が多く(薬味)、値段も高くなるが、  
夏期の生産は不安定で出荷量が少ない



# 1 取組の背景

なぜなら、暑くなると

葉色が薄くなる(品質上重要)

1本当たりの重さが軽く、収量が少なくなる

葉先枯れなど規格外品の発生が多くなる

**対策が必要 『夏を制すれば、ネギを制す』**  
(温暖化への適応がきっかけではない)

## 2 取組の内容

平成15年から

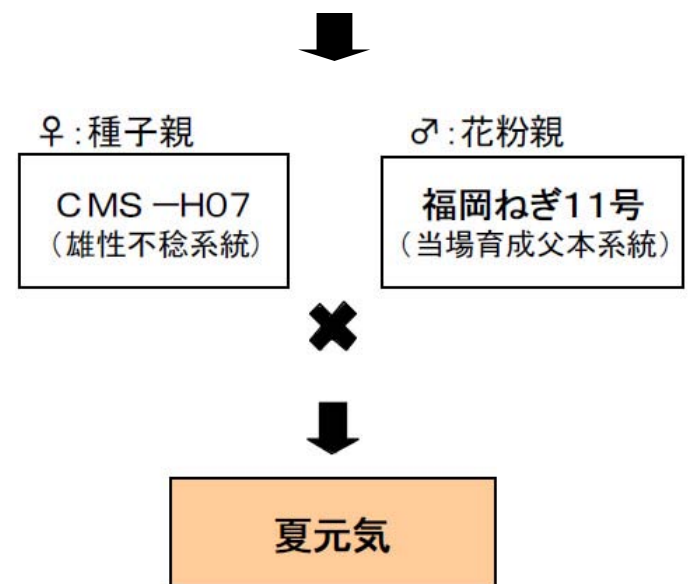
葉色が濃く

収量が多く

葉先枯れ症の発生が少ない

品種を目標として、育成を開始し、  
このような特性を持つ品種として  
「夏元気」を開発した

既存の品種から親と  
なるものを選定



開発プロセス



## 2 取組の内容

### 開発時の課題と対応

膨大な数の素材の中から、もともと暑さに強いものを見つけ出し、それらについて膨大な組合せの交配を行う必要がある

国のジーンバンクのネギの全品種をもらってきて、夏に作ってみた

その中から、暑さに強そうなもの、品質の良いものをかけ合わせた。(3,000通りの組合せを試した。)

### 3 取組の成果

「夏元気」を

暑さに強く高品質で

美味しい

小ネギとして開発できた。

H22年1月に品種登録出願、同年6月に出願公表された。



調製後の外観

左：「夏元気」、右：「FDH」

## 「夏元気」の夏出し栽培における品質など(他品種との比較)

播種期	品種名	生育日数	草丈 (cm)	収量 (kg/m <sup>2</sup> )	1本重 (g)	歩留り率 (%)	葉身径 (mm)	葉色	葉先枯れ症発生率	
									自然 (%)	強制 (%)
5月下旬	夏元気	66	46	1.79	3.8	69	5.3	7.9	0.5	10.7
	FDH	68	45	1.55	3.2	65	4.8	7.0	2.0	19.6
	夏彦	66	46	1.83	3.7	64	5.3	6.3	7.2	31.4
7月下旬	夏元気	66	48	1.74	4.1	71	5.8	7.8	1.1	—
	FDH	66	48	1.55	3.2	67	5.2	6.9	0.4	—
	夏彦	66	48	1.69	3.7	67	5.9	6.8	1.0	—

1) 播種日：平成19年5月25日、7月10日。平成20年5月26日、7月16日。数値は播種期ごとの2カ年平均値。

2) 歩留り率：調製後重量／調製前重量×100

3) 葉色：日本植物標準色票に照合し、10(濃)～1(淡)の10段階で評価。

4) 葉先枯れ症発生率：自然は、収穫時の発生株率。強制は、多発条件下(収穫期に無かん水、ハウス密閉処理を1週間継続)での発生株率。— は未実施。

## 「夏元気」への生産者の評価

場所	生育	収量	葉色	葉の硬さ	調製のしやすさ	総合	対照品種
A	○	○	○	○	○	○	FDH
B	○~△	○	△	△	○~△	○	FDH
C	○	○	○	○	○	○	よかおとこ
D	○	○	○	×	△	○	冬彦
E	△	△	○	△	△	○	よかおとこ

- 1) 平成21年 7月 4日~15日播種、 9月 3日~15日収穫。  
 2) 対照品種と比較して、○：優れる、△：同程度、×：劣る。



## 4 今後の展開

現在、現地での栽培試験による品種の評価を行いながら、H24年度からは十分量の種子を供給できるよう準備中。

夏期の栽培に活用してもらい、安定生産に貢献したい。

また、ブランド農産物『博多万能ねぎ』などの一つとして売り込んでいきたい。



## 図表および写真の出典



福岡県農業総合試験場資料

福岡県農産物ブランド化推進協議会ホームページ

「ファームステーションふくおか」

JA全農ふくれん園芸部ホームページ「博多元気ドットコム」